京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年 紀元二千五百七十年

本紙定價 一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵税一ヶ月十三錢

月曜日及び大祭日の翌日は休刊(日刊)

廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一圓五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢

發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久神一郎
京城西署西小門通(電話六六三)
發行所 京城新報社

獨逸帝とヰル氏

竹越與三郎氏談

獨逸皇帝は英邁の御方であると云ふ風に云はれて居るが、成る程一個人としては英邁の御方に相違ない。

然し今日獨逸の國情を考へて見るに、如何に現皇帝が英邁であるからと云つて、皇帝の力が國力に關係するものではない。寧ろ凡庸の君主が宰相に信頼して遣れば國力が延びて行く。今日の國情を以てして、英邁の人自らが政治をやると云ふ考へは間違つて居る。萬一にも英邁の君主が出て來て今日の歐洲に政治を執るとしたならば、恰も鯨の鰭鰐魚の脊の如き太古の怪物が出たやうなもので、今日の人民には少しも幸福でなく、又實際手腕を振ふ餘地もない。

先日崩御せられた英國皇帝を外交的の御方であると云ふて居る。帝は誠に高尚な紳士であつて、政治の上には少しの私見をも交へず、宰相の設けた處を圓滿に遣つて行かれたので、彼れ自ら策を用ゐ、自ら其れを遣つたのではない、只外君との交際を圓滿に遣られたのである。今日立憲國の君主としては斯くなければならぬと思ふ。

獨逸皇帝は一個人としては英邁であらせられやうが、今日の獨逸の國狀を維持するとは思はれない。維持するものは寧ろ國民である。皇帝の力は一を增さず一を減せずと私は思ふて居る。

又此の御方の外交の上に種々働かれるやうに思はれてゐるが、帝一人が遣られるのではない。獨逸の國狀そのものが遣るのである。

一人の元主を執ねて國勢に關係あるを云ふのは、或は國際上の禮儀であるかも知れない。然し國際の禮儀を離れては殆ど論ずる價がないと思ふ。

ルーズベルト氏に就ては餘り多くを知らない。只紐育の警視總監であつた時に、猛獸狩や冒險談などで有らゆる自己廣告を遣つてゐたのを、外國の新聞雜誌などで見てゐて、是れは乾度大統領になるであらうと、思ふてゐたが、果して幾干もなくして大統領となつた其の人や誠に米人、然かもよい分子を代表して居ると思ふが、然し彼れ一人が國際に關係あるとは思はれない。彼れは大統領となつて日米親善を謀り彼の學童問題をれつぶせやうとしたが彼れの力を以てしても如何ともする事が出來ない。個人的の勢力も亦た知る可きではないか。國際上の問題に於ても、此の人を主題として到底論ずる事は出來ない。

煙草試作の成績

勸業模範場に於ては前年來内外種に就き試作したる成績に依り其の略有望と認め得たる韓國種(成川、龍仁)日本種(國分、秦野、國府、達磨)土耳古種、バフラ)葉卷用種(ジンマース)黄色種(オロノコ)等を撰び各用途に依り適切なる栽培法を施し以て收益上の得失を調査したるに成川は成熟最も早く葉數草大略最も劣り龍仁は葉形細長草丈高からずと雖も葉數稍多く成熟は成川に次で早し秦野及國分は殆ど原產地のものに異ならずと雖も其葉形培土期以後に於て稍長形を帶ぶるの觀あり而して秦野は其成熟國分に比し稍遲れ達磨は葉數少なきも葉大にして生育最も佳良なり成熟は國分に比し稍早し國府は葉形葉肉共に中庸にして成熟早く草丈は前種に比し稍劣れりバフラは葉形細小葉肉薄くして早熟なりジンマース及オロノコは葉形長くして葉肉厚く成熟は比較的晩からず要するに秦野達磨國分オロノコ等就中生育良好也然して其の收量は秦野達磨及オロノコ最も多くジンマース國分之に次ぎ國府龍仁成川バフラ等順次之に劣れり品質は國分秦野達磨オロノコバフラ等良好にして成川龍仁最も劣れり今各種に就て評説を下すときは

▲韓國種 成川は當國在來種中最も優良なるものなりと雖も之を日本種に比すれば收量遙かに少く喫味辛烈にして臭味あり龍仁に於ても又然り是れ蓋し一には風土の關係に由るべしと雖も主として從來栽培法の不精なるに基因するものなるべし故に現狀に於ては其の收益到底日本種の利に及ばず抑も在來種は其性強健にして栽培容易なるの優點あるが故に之を改良するに栽培法の注意を以てし或は他の良種を交配して雜種を作るときは他日良種たるを得る望みなきに非ず

▲日本種 國分及び秦野は連年優位を占め達磨國府は近年の栽培なるも收量品質共に頗る佳良にして其の有望なるを示せり要するに日本種は能く當國の風土に適し之を紙卷及刻用に供して其利益最も大なり

▲土耳其種 本種は品質不良なるに非ずと雖も收量甚だ少く加ふるに勞力を要すること多きを遺憾とす

▲葉卷煙草 ジンマースは稍彈力に乏しきが故に單獨製造に供する能はずと雖も品質稍良好にして喫味辛烈なるを以て殊に當國人の嗜好に適せり

▲黄色煙草 オロノコは黄色種中の優等種にして色澤殊に鮮麗且つ香氣及び喫味共に佳良なり而して其の栽培亦容易なりと雖も唯之を乾燥するに當り特別に火力乾燥室の設備を要し加ふるに當國に於ては之に供する薪材高價なるが故に極めて良品を產するに非ざれば到底收支償ふ能はざるべく爲めに是れを直ちに一般農家に對して推奬し得ざるの憾みあり

俳句

◎夏(植物)五句　多田千春

休む鳩は馬が能く知る茂りかな
白壁は村長殿が桐の花
姫百合や蟷螂の庵の經机
紫陽花や遊女が注く化粧水
蹴鞠の場にこほるゝや櫻の實

講談

大岡政談 越後傳吉

第十四回　旭堂南陵講

親切に傳吉を勞はりまして源兵衛が吉原の三浦屋に周旋いたしましたところが正直で小氣の利くところから、だん／＼信用されて參りました、サテ人が見て居やうが居まいが當人は手一杯に働らくから用が早く片附てしまふ、炊くものは炊き、出すものは出し爲る事が濟んでしまふと、大番頭安兵衛のところへ來まして傳「ヤア番頭さんや」安「何だね」傳「これから後は何をしますか」

安「飯ア炊いたかな」傳「ハイ飯も皆炊いてしまひした」安「それぢやアもう終ひだよ、緩り休みない」傳「コレ何をいふ休みなせねといつて刻限が來りやア寢床へ入つて寢かしても貰ひますだ、れ給金貰うて三度これれ前樣結構な御飯を食べてやすだ、私ア國に居ます時にはこんな白米食べたことはない、此方へ來て奉公した此蔭でがす、こんな物を食べさして貰つて、マアれ前樣風呂へ入れて貰ふだ、れ給金は貰ふだ、それでれ前樣遊んで何うしますか、何をしたもんでがせう」安「だつて皆な仕事は割當になつてるから、れ前のする事はありれで終ひだ」傳「終へといふことがあるかい、これれ前樣も奉公人を遊ばしとくといふことがありますかい、なんでも構はねえさして下さい」安「困つたなこりやア、皆他がするよ」傳「他も何もねえだ、乃公ア遊んで居られねえからなんでも宜いからさしてくれ」奉公人が用が足らねといふて小言を貸つたのは安兵衛さん今日が初めて　安「ぢやマア其邊の拭掃除をやつてくれ」傳「ヤアさうですか」と傳吉は他のする拭掃除を手傳つてしまふと又手が空いて來た、手が空いて來ると又やつて來る　傳「ヤア番頭さん、この後は何をしますか」安「困るな、この男は幾ら用事を吩咐けたら足るのだらう」と安兵衛さん呆れてしまつて、この男に用を下命るのに思案に暮るくらゐ五日六日七日八日と稼で居ると當人の用事がズン／＼捗で來ると安兵衛考た　安「コレ、傳吉や」傳「ヘイ」安「一寸れ來で、やれ前のやうにさう働らきなさるやうだつたら」傳「ハイ」安「實は家で食べる米ぢやあの米を搗いてる男は由藏と云つて米搗だ、あれが足を傷めた上に年を老つて米が搗けなくなつたから、丁度幸ひれ前は手が空いてるから飯炊きと米搗を兩方行つたら何うだ」傳「ハイ」安「それで米搗は米搗の給金、飯炊は飯炊の給金、二人振が貰へるが何うだ」傳「なんでもねねでがす」安「その代り忙しいよ、二人前働らくんだから」傳「れ前樣何が忙しいことがあるものかな、米搗くぐらゐ田舍に居る時搗いて居たから樂なものでがすよ、それではれ願ひ申します」安「ぢやアやつてくれ」傳「ハイ宜しうございます」サアこれから朝暗い中に起きる、何しろこの人は星を頂いて働いた人ですから、暗い中に起きてドンドコ／＼米を搗き上げてしまひまして、御飯の要る時分にチャンと御飯を炊き上げてしまひますと、手が空いてるから後の米を搗いとく、もうこれで用がなくなつて來た　傳「番頭さんね」安「ハア」傳「又用がなくなつたがな後は何をするだい」安「困るどうも、こんなによう働く人間は初めてだもう夫くらゐで休みなさい」傳「ナニ休んでなるものか」終ひになると吩咐る用がないから困つてしまひました、當人用事を吩咐けられないからといつて要閑として居やアしない其近邊を迂路々々いたして紙が棄てゝありやア紙屑を拾つて紙屑籠へ入れる、滿足な紙がありやア皺を延ばしてチャンと反古にして疊く、決して塵一本だつて粗末にいたしません、拾つて自分の部屋へ放り込んどく、こいつを以て草鞋の一束も拵へやうかといつたやうな譯、到頭番頭の安兵衛感心してしまつた、このくらゐの大家の主人になると決して家に居りません三浦屋四郎左衛門は根岸の別莊の方へ行つて居て、月に一度か二度勘定しに戻つて來る、今日しも久振りに歸つて來た　安「旦那樣れ歸り」四「安兵衛どん何うぢやな、れ前に訊て見やうと思つたんだが、あの田舍者だといふのは……」安「イヤ何うも旦那驚きました、奉公人も澤山見て居るが、まだあんな人間は初めてい、そりア豪いもんでござゐます、今飯炊と米搗と兩方やつて居ります





東京電報

▲皇后陛下行啓
皇后陛下には本日慈惠會看護婦卒業式へ成らせられたるが尚ほ同會に對し御下賜品ありたり(五日)

▲韓鐵の所管替
鐵道院は日韓〇〇後韓國鐵道を拓殖局の所管に移すに決定せり(同上)

▲議院要覽の刊行 議會毎に編纂せし衆議院要覽先例彙纂は近年經費節合上總選擧毎に刊行すべく改めしが四十五年總選擧後に刊行するものは頗る浩瀚なるものとなるべしと(同上)

▲不動産銀行計畫 現在の勸業興業農工の諸銀行のみにては農工業者に對する金融の圓滑を欠くを以て純然たる不動産銀行を設立せんとの議有力銀行者間に起り來議會の問題たるべし(同上)

▲水産資金の貸付 今期議會にて決定せる水産資金貸付に付日本勸業銀行北海道拓殖全國農工銀行は既に定款改正をなし認可申請中なるが貸付開始は十一月過なりと(同上)

社説

韓鐵の獨立經營

政府は近く現實さるべき新對韓政策に伴ひ韓國鐵道の鐵道院の管轄より分離して再び在韓最高官衙の直轄に屬せしめんとの議熟し殆ど内定を見るに至りたりと云ふが右に關し内田拓殖局部長は語りて曰く政府は内地各鐵道を國有として之を統一すると同時に近き將來に於て南滿鐵道をも鐵道院の直轄に屬せしめんとするの意向ある今日韓國鐵道を鐵道院より分離せしめんとするは大に其の統一政策と撞着するが如き觀あるも這は畢竟其の着眼點の如何に依りて較るゝ議論にして苟くも韓國を本位として之を觀察する時は韓國行政の遂行上若しくは將來の財政上決して不當の處置とは云ふべからず余は固より斯の如き廟議ありや否は明言する能はず又其實施の時期如何を知らずと雖も寺内統監の方針は韓鐵の十一箇年計畫を短縮して八年計畫に繰上ぐるの豫定にて到底内地各鐵道と其權衡を保つ能はざる事情もあれば寧ろ鐵道院と分離せしめて獨立の經營に一任する方或は相互の便宜ならんかと思はる云々

韓國鐵道と拓殖局

▲韓鐵許畫短縮 交通機關の完備は拓殖施設上の第一義なれば韓國鐵道の十一年計畫は現今及び將來の現狀に徵し少くも二三ケ年を短縮するの必要あり是れ固より經費の問題なれば茲に之を確言する能はざるも今日の方針としては今後八ヶ年を以て全部を竣成せしめん豫定なり

▲工事の方針 明年末に於ける京義線改築の竣成と同時に工事の主力を湖南線に集注し線路橋梁其他共極めて速成を旨とし云はゞ假普請を以て茲兩三年間に開通し得せしめ其以後は豫算の全部を京元線に注入し來る五十年度を以て全線を完成せしむることゝし而して速成せる湖南線は徐々に改修を加ふる方針なり

▲鐵道課の設置 拓殖局は近き將來に於て特に鐵道課なるものを設置し臺灣樺太を除く外滿鐵、韓鐵に關する事務を取扱はしめんとの議あり其時期は無論不明なるも早晩事實となりて現はるゝに至るべし(某當局談)

●商業會議所役員會 五日商業會議所に於ては改選後第一回の役員會議を開催したり議案は會議所の區域變更に關する件併他定款改正等協議なりしと

●隆熙號と損害責任 元山吉田秀次郎氏の經營に係る北韓航路に使用中の隆熙號が釜山へ廻航の途中尉山は近に於て座礁せるは既報の如くなりしが該船は韓政府の持船にして總噸數七百噸を有し既に四十餘年を經過せる老船なるより同氏も其不經濟に堪へず本月一日限り返還する事となり居れるに其前日即ち六月三十日遂に彼の不幸に遭遇せるものなりと而して遭難の原因に就ては未だ詳細の報告に接せざるを以て之を知悉し難きも該海方面は近來濃霧の爲めに咫尺を辨せざる程なれば則ち之が爲めに不幸を招けるものなるべし尤も救助の見込ある由にて有馬丸が同座礁點に航行し種々手當を加へつゝあれば近々何等かの效果あるべき筈なり今之に關し韓政府と同氏との貸借契約を聞くに不可抗力ならざる場合の損害は六萬三千圓を十箇年賦に賠償する筈にして其原因が果して是に該當するや否やは專門家の判定を待ちて決する都合なり而して韓國には未だ海事裁判制度の設けあらざれば多少の面倒あるべきも事實は濃霧の故障にして此場合停船して危險を避くる能はざりしは同方面は潮流頗る急激なるより遂に海圖指定の暗礁に觸れたるものなるべし隨て契約の所謂不可抗力たるは想像するに難からずと云ふ

●韓銀貨幣發行週報(自六月二十六日至七月二日)

銀行券發行平均高	一三、二九一、二八六
内 正貨準備發行平均高	五、四〇〇、七八六
保證準備發行平均高	七、八九〇、五〇〇
銀行券平均手許有高	六九七、三三九
市場流通高平均	一二、五九三、九四七
硬貨發行高(七月二日現在)	六、四二〇、一四〇
内金貨二十圓	一、八五〇、〇〇〇
同 十圓	五〇〇、〇〇〇
同 五圓	五〇、〇〇〇
銀貨五十錢	九二三、五〇〇
同 二十錢	一、五〇三、〇〇〇
同 十錢	一、〇六二、五〇〇
白銅貨五錢	六二三、〇五〇
靑銅貨一錢	二七七、三六五
同 五厘	八〇、七二五

●水野内務省參事官 水野内務省參事官は大邱、馬山、釜山の視察を了へ五日歸朝の途に就けりと

公人私人

▲南部助之丞(東鐵庶務課長)四日釜山より入京天眞樓へ投宿
▲弓削幸太郎(鹿兒島縣事務官)四日仁川より入京山本旅館へ投宿
▲尾崎俊甫(南韓地方金融組合理事)四日入京九州旅館へ投宿
▲森田福太郎(釜山商業會議所書記長)四日入京浦尾旅館へ投宿
▲稅所進(憲兵中尉)晋州へ歸任
▲伊集院榮吉(同)光州へ同
▲加藤勝之進(同)春川へ同
▲早田元豐(大阪新聞記者)釜山へ
▲高橋茂久平(金光教韓國布教管理者)
▲佐藤範雄(同一等講教師)同

●小作米取立の紛議 去る六月二十九日海州郡花揚面申泰斗なる者は同面申克信外四名より小作米取立の事に就き家を燒かんと脅迫し剩さへ妻女を毆打したりとの告訴あり海州署に於ては早速五名を召喚したるに百余名の村民は被告に附隨して出頭何か不穩らしき樣子なりしも警官は厚く說諭を加へ夫々引取らしめたりしと

●尹侍從院卿と首相 侍從院卿尹德榮氏は李完用氏が宮中に於ける勢力を壓倒して自己の權力を擴張せん爲め何等かの密謀を計畫せる形跡あること嚙なく露顯せしより李完用氏に面會して只管陳謝の意を致さん爲め李氏を自邸に訪問せるも面會を謝絶されたりと韓字新聞は報ず

●理事官の議員招待 三浦京城理事官は京龍合併祝意を兼ね今後兩地議員の倍々自治機關運用に協力せん事を望むべく京城龍山の民會議長以下議員及古城民長大久保民長並に今村統監府書記官を五日午後六時より京城ホテルに招き晩餐を供せりと

●山縣副統監の献品 山縣副統監は今回新任の記念として左記の品々を献上する由
皇帝 佛蘭西製方形金屬製七寶入置時計
太皇帝 佛蘭西製圓形金屬製七寶入置時計
皇后 絹張函入珊瑚珠 三粒
慶善宮 桐箱入珊瑚珠 一聯

●統監披露の園遊會 新任正副統監は内外官民二千餘名を招待して盛大なる新任披露宴を開く筈にて其期日準備等に就て五日統監府參與官參集の際協議する所ありたりと云ふ

●李總理大臣の招宴 李總理大臣は五日午後六時より岡、松井、若林三氏の爲めソンタクホテルに於て送別會を開き各大臣參與官等も出席したり因に首相は病後なるを以て缺席し韓内閣書記官長主八を代理せし由

●明石司令官の訓示 明石憲兵隊司令官は今回の官制改正に伴ひ一日付を以て部員の任命を終りたるは既報の如くなるが今五日各部員に今後に對する勤務方法に就き訓示する處ありたり

●北韓地方赤痢流行 咸鏡北道江界地方にては先頃來赤痢病流行し既に百余名の患者を出したるより内部衛生局は山内技師を同地に特派したり尤も其後の報告によれば稍々終熄を呈せりと云ふ

●宇佐美次官の挨拶 山縣副統監と同行入京の宇佐美内部次官には五日午前先づ統監府及び憲兵司令部を訪ひ次で内部に入り十二時半各課吏員を引見新任挨拶をなし同時に事務引繼を了したりと

●築港設備委員集會 仁川築港設備委員會を一昨四日午後八時より民役所樓上に開きしが出席委員十五名にして會長岩崎直咲氏及び加來榮太郎氏の東上報告あり續て種々協議に夜を更かして十一時過ぎ散會したりと云ふ

●副統監謁見と陪食 山縣副統監は六日午前十一時昌德宮に

上半期 韓銀營業成績

營業資本金一千萬圓(拂込二百五十萬圓)
總裁 市原盛宏
營業部長 木村雄次
營業課長 横山直槌

同行の成立は世人の知れる如くで、營業方針も大體に於て首肯されて居る、然らば前半期の營業成績は如何であるか、本支店を通じて純益金二万六千二百圓餘內譯は本店の揚げたる純益金三萬八百餘圓を第一とし、平壤の六千六百餘圓が第二位に置かれる、之れは主として砂金買入れより得たる利益である、第三位鎭南浦支店の一千七百餘圓は米穀の出廻はり多かりし爲めである、此の外の支店は略すとして何れも可なりの成績である、金融緩慢の折柄、他銀行との競爭を避けての營業には十分の收利を期し得られないと行員は云つてゐる、夫れから釜山支店開設費を要したので總純益金の額は本店のそれよりも減じたのである、而して六月末の概况は如左

政府借上金(貨幣整理の爲め)八百五十八萬五千三百余圓
第一銀行外各銀行へ別途貸附金七百九十九萬四千九百圓余
政府預金七百六十八万三千余圓
普通預金四百九十萬六千圓余
普通貸出四百十万二千圓余
銀行券發行高一千三百二十五萬五千圓余
發行余力六百十二万四千圓余

參内韓皇に謁見し正午十二時より陪食仰付らるべく列席者は日韓文武官等三十名内外なるべしと云ふ

●山縣副統監の歷訪 山縣副統監は五日午前八時四十分出邸本町通り長谷川町を經て大久保司令官を訪ひ夫より南大門通りに引返して龍山に横永師團長を訪ひたり

●大韓日々新聞再刊 休刊中なりし大韓日々新聞は愈昨五日より再刊發行の運びに至りたり

●北韓の發展策 近頃官命を帶び北韓視察の爲め出張したる某氏の土産話に曰く、北韓殊に鏡城以北は由來米作なき土地柄なれば住民の常食は粟、黍、稗等にして甚だしきは燕麥を食する者さへあり糧食は常に不足を感ずるに依り間島方面より粟の輸入は非常の額に上れり故に之れが救濟策として農事の改良も必要ならんが地味痩瘠なれば容易の業にあらず然るに北韓牛は著名の輸出品なれば之れが獎勵をなすこと最も急務なりと思惟す又海産物麻及果樹の如きも將來は至極有望の產物にて農商工部が近來果樹を配布せる狀況を聞くに人民は爭ふて之れを得んことに努めつゝあり誠に喜ばしき現象なりと

●鈴木社長の招宴 來京中の愛國生命保險會社社長鈴木萬次郎氏は五日午後七時より知友數十名を天眞樓に招宴す

●若林氏の留別宴 若林前警視總監は六日午後四時より元警視廳員八十餘名を景福宮に招待し園遊會を催ふすと

●戶叶民堂氏歸韓 上京中なりし戶叶朝鮮日報社長は四日東京を出發したるに付き七日夜南大門着の豫定なりと

●土地家屋證明法 内部地方局は土地家屋證明法令及例規を各道に配布す

●宇佐美參與官舍 新任宇佐美内部次官は當分巴城館に宿泊する由なり

●憲兵分隊の開廳 今六日京城憲兵第二分隊は元警視廳跡に開廳さるべし

●上村前警視任所 前警視上村曼助氏は奈良縣の某官に任命に決せりと

●加藤房治氏出發 來京中なりし東京日々新聞記者同氏は五日出發歸東す

●岩田工學士の訃 度支部建築所技師岩田五月滿氏は膓窒扶斯に罹り大韓醫院に入院加養中遂に五日拂曉長逝せられたり氏は造家技師として渡韓せる嚆矢にして當初燈臺局に聘せられ海門燈臺二三の難工事を竣成せしめ後建築所に轉じ今日に至る迄通じて六箇年間韓國政府の建築工事の殆んど全部に關與し多大の貢獻を爲したり現今の度支部京城高等法院釜山、仁川、鎭南浦等の稅關建設物を始めとして氏の設計又は監督に成れるもの七百工事を算すといふ淸廉温厚良技師の聞えありしに今回訃を聞くに至りしは誠に惜むべきなり享年三十九

有吉長官の病狀

有吉新任總務長官は病氣にて千葉病院に入院治療中の由は曩きに東電の報せし所なるが氏の病は脊髓病に胃病を併發せるものゝ由にて殊に脊髓病は十數年來の固疾にて醫師も不治の難症と診斷し目下胸板を當て辛ふじて健康を保持し居る次第なれば茲一二箇月中に赴任し得る迄快復するや否やは疑問也と

●濟州島の農事近況 ▲濟州島は主として海產物漁業を以て生命と爲せば農業の比較的振はざるも異とするに足らず今同地の農況に就き同地警察署より木浦理事廳への報告を聞くに▲麥 麥は其發育極めて良好なりしが刈込みの時期に際して目下降雨數十日に涉りしため早き分は刈込みの儘畑に捨て置かれ發芽せしもの多く遲きものは刈込む事を得ず畑に倒れし儘發芽したるものあり收穫高は昨年度二千五百石本年度千七百石の豫想▲稻 植附反別十六町步にして發芽の當時雨少かりし爲め三分の二强枯死せるものあり畑には目下粟の播種中なり▲大豆▲麻 大豆の植附面積十五町步發育は良好なり此の分は肥料用にして食用のものは今後植附けの筈なり麻は降雨の爲め腐蝕せるもの多く收穫は前年の半額位なるべしと云ふ▲棉花 植附面積卅七町步韓人のみにて日人なし發芽及生育は佳良なり

●民團助役の選定難 京城民團助役撰定に就ては幾多の候補者算へられしが彼の京龍民團合併問題の爲め解決後に讓るを可とし未だ決せざりしが愈々合併も五日を以て實行されたれば近々事實の解決を見るに到るべし而して目下候補者として呼聲高き峯尾晉三郎氏及大久保前龍山民長並に岩永某の三名にして峰尾氏は殆んど確定せり尙ほ今後の助役は二名を置くを以て他の一名を撰定するの必要あり則ち孰れも同氏の失職を氣の毒に思ひ是非之を推撰せん意向あるも氏は大分縣人にして例の苦情多き閥族の仲間入りするは快からざればと辭退の意あり此機微を知れる和田常一氏は目下敎梁津放浪中の岩永某を推せるが某は何等行政上の經驗なき爲め兎角撰任を躊躇せらるゝの傾向あれば結局大久保氏に決すべしと聞く

●各地の米豆價格表 六月二十日現在の各地に於ける米及大豆の卸賣價格は左の如し

地名	上籾	上玄米	大豆
仁川	四、五〇〇	九、三〇〇	七、六五〇
江景	三、四〇〇	八、八〇〇	六、九〇〇
群山	四、一〇〇	八、一〇〇	七、二五〇
木浦	四、九〇〇	九、一〇〇	六、五〇〇
馬山浦 日種	五、二〇〇	九、七〇〇	七、六〇〇
馬山浦 韓種	四、五〇〇	九、二〇〇	
密陽	四、六〇〇	八、四〇〇	六、九〇〇
海州	三、七〇〇	八、〇〇〇	七、五〇〇
鎭南浦	四、五〇〇	九、二〇〇	七、七〇〇
龍岩浦	四、五〇〇	一〇、四〇〇	六、九〇〇
平均	四、三七〇	九、〇二〇	七、二二〇

●小作人組合講習會 光州財務監督局管内景陽國有地小作人組合に於ては本年苗代播種前に於ける農事肝要の時期を利用し光州地方金融組合と合併の上短期農事講習會を催したるが講習期間三日にして七十八の講習生あり科目は稻作棉作桑樹栽培法にして實地應用を旨とし鹽水撰浮種稻扱使用植桑法等を懇切に講話し他短冊苗代整地法播種法施肥管理除草蟲害驅防刈取乾燥法等は圖解を示して詳細の說明を與へたるが講習生は何れも熱心に聽講し飽からざる感化を與へたり尙ほ十一月麥播種前に於ても同樣講習の豫定なりと

●會議所と店員獎勵 京城日本人商業會議所にては店員獎勵規定を設け之れが實施の爲め各店へ向け來る十五日まで同規定第四條に該當する有資格者右期間内に申出でらるべし若し同期間内に申出でなきものは明年度に引延さるべしと

●荒井次官の歸朝期 荒井度支部次官は内地金融界の趨勢を利用して國債借換を爲さん希望を以て東上せるが大藏省は全然之を合はざるのみならず韓國問題解決急迫の斯かる不急問題に耳を假すものなければ寺内統監に隨行して歸任すべしと

●龍山出張所の吏員 五日より京城民團役所龍山出張所を新設するに就き第一課長釜永十作氏は同出張所主席として執務することに決し其他書記以下吏員の配置を行ふ由なり

●岡喜七郎氏の出發 岡前内部次官は來る七日午前九時南大門發の汽車にて歸任の筈なりと

●松崎藏之助氏入京 東京帝國大學教授法學博士松崎藏之助氏は四日釜山より入京京城ホテルへ投宿

●任度支部大臣下仁 度支部大臣任善準氏は五日午前八時四十分南大門發列車にて下仁せり

●若林元總監出發期 若林元總監は十五日頃出發赴任の豫定

●朝鮮「七月號」 雜誌朝鮮七月號出づ卷頭に掲げし『第三世統監の施政方針如何』と題する長論文と『新舊人物』とは旭邦子一流の無遠慮なる書き振り一讀痛快を覺ゆ、論說欄には大隈伯以下諸名士の名論卓說あり其他研究富源、雜纂、名流談話、訪問錄等何れも有益なる記事多し尙ほ同誌に付き注目すべきは近來東京記事の多くなりしと文藝の多趣味な事となり之れ即ち同誌發展を示せるものならん一部二十五錢本町九丁目朝鮮雜誌社發行同二丁目日韓書房發賣

龍山通信 (五日 支局報)

▲龍山民團事務は今六日引繼を爲す由なるが吏員は龍山より七名を京城に移し他は其まゝ龍山に殘し更に四名を京城より龍山出張所に詰めしむることゝなるべく而して出張所主任は現京城民團一課長釜永十作氏なりと

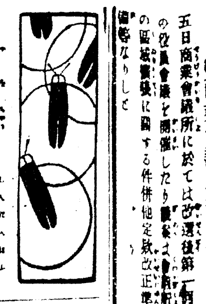
▲龍山新市街濱江通に敷設中の電車線路は既に九分方竣工し此程試運轉を爲せしが近日中運轉を開始する由

▲新任龍山署長濱島警視は五日より出署視務しつゝあり

▲大久保前龍山民長の今後に就ては龍山居留民の等しく氣遣ひ居る處なるが或は民團助役となるべしと云ひ或は内部主事に任せらるべしとも傳ふれども何れが眞なるべきや知る者絶へて無し唯近日召集さるべき京城民會に於て附議せらるべき同氏慰勞金贈與の件を決したる後初め氏の進退は發表せらるべし

▲治外法權▼

山縣副統監の乘込は中々大シタ者であつた、否乘込の際のみならず、一寸市中を廻らるゝにも憲兵巡査が街路の兩側を騷の還入る隙も無い程固めて居る、併し出來事はイツでも異逆と思ふ時にあるのだ、扨此暑いのに護衛者被護衛者共御苦勞な事だ▲米國總領事館の獨立祭園遊會へ行つた、例に依つてれ約束の奏樂があつた、内外紳士貴女が三々五々芝生の上を喃々喋々逍遙して居つた▲模擬店は四ツあつて、一ツが牧畜店、一ツが淸敎徒店、一ツがアメリカ印度娘店、一ツが南部諸州娘店で賣子は何れも在留アメリカ夫人令孃逹が牧畜、淸敎徒婦人、アメリカ印度娘及南部諸州娘に假裝せるものであつた▲假裝とは云へ爭はれぬもので客は牧畜店に就いては牧畜風に振舞ひ、印度娘店に就いては半野蠻風に振舞ひ、南部娘店に就いては無邪氣快活に振舞ひ、淸敎徒店に就いては襟を正すと云ふ風があつた▲外に飛離れた所にケンタッキー式の賣店があつた、茲では亞米利加特製のウイスキーと他の酒類とを賣つて居た、繁昌他の四店を壓し、禁酒會員をしてソゾロに慄然たらしめた▲記者は當夜の會を米國の縮圖と思つた、而して淸敎徒とウイスキーとの兩極端がヤンキーの生命だと思つた▲此頃は高等教育を受けた女子の嫁入口が益々減との事だ、一例を擧ぐれば東京では目白の女子大學を卒業した連中はイザ嫁入となると大學卒業の事は秘するソウだ、モシ判かつたら貰ふ方で異平〳〵を極めるソウだ▲思ふに日本の女子だとて高等教育を受けて惡るくなる道理はない、必ずや亭主野郎になる奴に意氣地がないのだ、語を換へて言へば彼等は貴婦人を連れる資格がないのだ▲安東縣伊佐奈商會の廣告に曰く「東洋拓殖株式會社御經營漁獲鮮魚類大販賣」と御經營は中々振つて居る。



八百長的健康診斷法(下)

▽男らしき態度を望む

前に述べた如き意味よりして行はしむる健康診斷であるから警察の立會とか何んとか云ふ監督はない料理店主は氣の向いた時に氣に入つて醫師に診察を受けさせる、料理店も醫者も詮じ詰めれば飯食はんが爲め金慾しさの營業であるから醫師に對して診斷上に手加減あらんことを賴む醫者は又醫者でそれ得意様の御便利を圖つて永遠の御引立を願はふと云ふので甚だしいのでない以上は目を閉つて「異狀」なしとする料理店の手加減を賴むのは無理はないのであるが醫師が其の請託に應ずるのは少々不都合ではあるまいか、夫れ計りでなく此の健康診斷に從事する醫師中の或者は此れを檢黴と誤解して居るものがある從つて局部にさへ異狀なければ健康體と認むると云ふ傾がある夫れで此の方は受診者に氣受けが好い、此れに反して叮嚀親切に診察する方は彼の人は手心を知らぬと云つて排斥する、而して其の手心ある局部より他を診察せぬ人の健康診斷を受けることゝなる我輩が八百長と云ふのは無理であるまい、重箱に入れた如な理窟は暫して娼妓以外賣春婦の取締りはナカ〳〵困難なことは申す迄もないが夫れは人前の道理を除けて實際賣春婦は必要であるからだ、必要だから取締りを要するのだ例へば毎月一圓宛三年掛け金して滿期の際に二十七圓渡すと云ふ如な發達の見込みなき講社の如きは取締る必要がない世間の需用の多いもの程取締は嚴重にせねばならぬ暑氣に入りて飲料品の夫れを勵行するのも此の理由だ、誤解されては困る、我輩が健康診斷を完全に行へと云ふのは即ち他をして安心せしむると同時に酌婦仲居等の健康を保障して遣れと云ふ意味だ、故に其診斷法も醫師に依りて二三にせぬ様に一定の方針を確定するのが目下の急務である、無意味にして臭味を帯ぶ檢擧の勵行は我輩は歡迎せぬ夫れよりは男らしく公認して特定の箇所集中策を執り八百長式健康診斷を排して一定の方針の下に之を勵行すべきである、而して斯くするは一派官吏の腐敗を防ぎ得る即ち料理店に魚心を强ゆる水心官吏が無くなるのは請合であるが一所集中を行ふにも仲の新地の如き天下の公道南大門驛前の様な所は避けねばならぬと云ふことも序を以て申して置く

精神病者の殺人犯

▽京城控訴院に審理中

岡山縣勝田郡勝加茂村大字勝加茂百七十六番地平民當時咸興北道鏡城郡羅南初瀨通り菓子製造業平田辰右衛門(三二)は同職橋本馬吉とは在郷當時より兄弟の如く暮し居たる者にて昨年八月相携へて渡韓し共同して菓子製造業を營み互に成功せん事を誓ひ睦しく從事し居りしに双方話合ひの上別居する事となり平田は羅南初瀨通りに一戸を構へ知人森本民一郎なる者と共同する事になり專業に從事中昨年十一月下旬に至り馬吉の依賴に依り平田の宅と壁一重隔てたる假谷浩なる者の内に同居せしむる事に周旋し日々の食事は平田が無代價にて供給し居り馬吉は同所に於て獨立にて菓子製造業に從事し居りしも平素飲酒を嗜み平田の忠告を容れず放蕩しつゝありしに本年一月五日所持金ある如く裝ひ平田並に森本を誘引し羅南吉野町料理屋玉水樓に登樓し遊興の揚句森本内田に於て支拂をさしめたるより内田は不快の念を懷き居りたる同月七日内田宅に於て七日正月と稱し橋本森本並に假谷浩の四人にて飲酒したるに平素多量の酒を呑み能はざる内田は頗る酩酊し此處に於て永く呑み居るも面白からざるに付料理屋に行き一杯飲み直し度き故金三圓許り貸與し吳れと橋本に相談せしに持合せなしと斷りしより其儘内田は其處に醉ひ臥し假谷浩は用事の爲め他出し續いて橋本も外出し森本は他より煎餅の注文ありしに付持ち行くと稱し内田と共同營業なる煎餅二締を携帶し外出したり然るに馬吉は料亭玉水樓に登樓し森本を招き共に飲酒し居り下女をして内田に再三再四來會を促せしも内田は前に橋本が所持金なしとて自分の賴みを斷り乍ら玉水樓に登樓して自分を呼びに來るは前回の如く始末を負はしむる目的ならんと推知し不都合を憤り橋本を殺害せんと決心し知人田川治七郎所有の白鞘小刀を盗み出し之を懷中し玉水樓に登樓し橋本の酒席に至りしに橋本は盃を遣さんと差し向けたるに内田は夫れを受くるや否懷中せる兇器を取り出し橋本の頭部胸部に斬り付けしより橋本は即死したる騷ぎに警官並に檢察官現場に檢視し内田は其儘逮捕せられ咸興地方裁判所清津支部に於て殺人犯として懲役九ケ年に處せられ控訴申立爾來京城控訴院に於て楠裁判長深澤檢事の係にて審理岡田高橋兩辯護士は辯護人となり公判開廷ありたるが前回辯論に於て辯護人より被告内田は精神に異狀を生じ居れば犯罪當時或は異狀を生じ居たるにあらざるや專門醫士をして診斷せられん事を申請し深澤檢事は賛成の意見を述べ更に内田の鄉里に於ける血統等を警察に照會せしより其回答も來り昨五日第二回開廷大韓醫院村上醫士をして内田を診斷せしめ更に開廷ある筈なるが鄉里警察署の回答に因れば神經血統ある由殊に被告内田は一見發狂者に異ならざれば或は精神に異狀を生じ犯したる罪ならんと

十五人の命を取る紙

△蠅取紙に注意せよ

盛夏に近くに從ひ蠅の群集は漸々夥しく开は啻に煩きのみか衛生上有害なるより其驅除法に就ては何人も苦心する所なり爲に近來蠅取紙とて殺虫劑を塗れるもの世間に行はれ之が發賣をなす者甚だ多し是等蠅取紙中には往々人間にも危險を及ぼす物ありて蠅を殺さんとして過つて人を殺すの虞れなしとせず現に此程神奈川縣衛生試驗所にて分析試驗を行ひし山梨縣甲府市綠町盛榮堂發賣の蠅取紙には一枚中に人間十五人を殺す丈の毒藥亞砒酸を含み居たりとは危險も亦甚だしと云ふべし今東京衛生試驗所技師の談に據れば毒藥亞砒酸は〇、〇〇五瓦以上は人を殺すに足る其が十五倍なる〇、〇七五瓦以上あれば優に人間十五人を殺す事を得べし此〇、〇五七瓦なる分量は量としては實に極微のものにて之を蠅取紙一枚に塗る事固より有り得べき事柄なれば蠅取紙を使ふ人は能々注意して此意外の危險に罹らざる豫防を爲すが肝要なるべしと

極端なる亂暴な親

▽他人の子を打ん擲り ▽人事不省に陷らしむ

子供の喧嘩に親が出るとは昔から云ひ來れることにて現に屢ある事實にして親子の情として別段珍らしきことにも排斥すべきことにもあらず然りながら此所に喧嘩でもないのに飛び出したる如何にも極端に亂暴なる親こそあり四日午後八時頃北米倉町萬勝次郎長男利勝(十一)太平町二丁目菓子小賣商峰原喜會衛門長男勇(十一)其他六七名の學校友達連にて太平町金丸飲食店前街路に於て遊戯中遊ぶ方法に事を缺きて罪人ゴッコをなし利勝は自ら刑事巡查となり勇は犯人側に擬し利勝の刑事巡査を罵倒し結局捕縛さると云ふ筋にて勇は盛んに利勝を冷罵したるより筋書通り勘辨ならぬ本署まで來よとて捕繩に擬したる細帶にて兩手其の他を縛したるに身体の自由を失ひたる勇は小供心に急に氣味が惡くなつたと見へ大聲上げて泣き出せしに利勝其他の小供連は大に驚き之れを解きたるも泣き止まずして歸宅したるに夫れと見たる父親の喜曾衛門は理由も聞かずに飛び出し何も知らずに遊び戯れ居る小供の群に躍り入り年嵩の利勝を引つ捉へ物も言はず力に任せて其の面部を五つ六つ續け打ちに撲り付けたるに常々腦病の氣ある利勝は夥しく鼻孔より出血すると同時に現場に昏倒し人事不省に陷りたるより他の子供連は利勝方に報道せしにぞ母親は宙を飛んで馳け付け自宅に舁ぎ込み取敢へず頭部を氷にて冷す等看護に手を盡せしより人心地は付きしものゝ面部一面腫れ上り三四時間が程は泣き續けに泣き居たり然るに一方喜曾衛門は事情判明したる後も自分の非を悟らず一片の謝辭も陳べず煙草輪に吹き澄し返つて居るとは憎むべき所行と云ふべし因に同人の息子勇は附近にても名代の暴れ屋にて九州樓の子供なぞは日に二三回は必らず泣かされ常なりとか



歌舞伎座に開演中の桃中軒如雲

濟州島漁場紛議

▽血の雨を降さんとす ▽獰猛なる漁民の紛爭

去月廿日午後九時濟州島月訂里の沖合漁場に當り各數十名の漁民等が數隻の漁船に分乘して刀劍を閃めかし銃器を携へ將に血の雨を降らさんとする一場の大活劇を演ぜんとし同地警察の盡力に依り餘り大事に至らずして事濟みしは幸せなりし、原因は此の社會に有り勝ちの漁場爭ひより起りしものにて月汀里居住の元達健が在京城の山本旅館主山本正三と圖り大韓協會員なる肩書を利用して先願者同里朴墨一外村民三百餘名を出し拔き同漁場の免許を得たるより同里にては從來の村民派と大韓協會派と二派に分れ互に反目せしものか一層相互間の嫉視を増す事となり居りし處去月廿日村民派の漁民が同漁場近く漁業に從事し居たるを見るより元達健一派の漁民は武器を持ち出し村民派を追ひ退けんとせるよりして茲に端なくも一大格闘を惹き起せるものにて村民派へは日本人淺川富三郎なる者加擔し騷動愈よ大ならんとせるが同郡衙は濟州島警察署と協力仲裁する所あり元達健の顧問山本正三と村民派との間に漁場の境界線を定め格闘の際生ぜる損害は双方讓り合ふ事となり一時如何なる大騷動となるも知るべからざりし事件も無事に落着せしは結構なりし左れど濟州島中にても月汀里一帶は人氣頗る獰猛の處なりと云へば今後永く無事なるを得べきや圖り知るべからずと云ふ

怪韓人の身元判明

▽朝鮮流の似非志士

二十九日未明鎌倉郡江の島に於て一韓人が自殺を企て遂げ得ざりし事は既報の如くにして其後鎌倉署にて嚴重に取調べの結果遺書中千秋の恨を呑みて自殺すの如きは何等の意味もなき旨申立て同日午前に到り東京神田橋外昌平館事日下部秀一方止宿韓國留學生林泳煥(二九)なる者なる事を目白したるが聞く所に據れば彼は既に昌平館に一二三百圓の負債を生じ其の始末に窮せる餘り死を決して江の島に來り欄あらば某子爵を刺して名ある死を遂げんとしたるも好機なきより遂に自殺を企てたるものなりとの事なるが鎌倉署にては深く後來を戒め嚴重に嚴誡を加へて三十日朝同人を放還したり

●渡邊島城氏來京 旅順白玉山畜房主人渡邊島城道人一昨四日來京不知火旅館に投宿せり因に氏の書法に於ける世既に定論あり今回は旅順戰跡紀念品數種を齎したるが同品は二〇三高地の土を以て造り諸將軍の詩を島城氏が親しく鐵筆を採り彫刻せるものにして旅順戰跡好個の紀念品なりと

●仁川藝妓の席順 仁川藝妓の先月中貢上順を聞くに一富士の米蝶を第一番とし之に次ぐは鱗の咲太郎事玉勇同じく笑子、福助、福太郎、二昇、金太五郎、丸八、梅八、桃太郎、光子、朝日、千代田、久子、生駒、榮吉、榮太郎、富美子、八重山の順序(其他は略す)なるが米蝶は相變らず日本町の弗旦を縱なす結果に外ならず亦た咲太郎は病後容貌の幾分美を加へしと機關部修繕の爲め更らに大に戰鬪力を增し所謂自然主義を標榜する賜と見るべく笑子は艶麗なる風姿と誰にも彼にも平等主義の愛嬌を振り蒔く爲め好成績を擧ぐるに外ならじ

●拐帶青年の就縛 去る一日の夜は更けて往來稀なる仁川濱町二丁目日本湯附近の貸家を覗き込みし青年ありしが徐々と屋内に入り込み二階に上り込みたるに信は意外誰居らぬ空家とのみ思ひしに蒲團を置いてあるより天の賜と三拜九拜轉りどまろび寢の夜は明け渡りて邊りを見廻せば傍に名も知らぬ男の眠り居るに仰天し聲をも立てず屋外に飛出さんとするを然はやらじと引捕へ宮町派出所に訴出でければ取敢へず本署に送り刑事係の手にて嚴しく取調べたるに遂ひに事實を有体に自白したり同人は岡山縣苫田郡津山町二丁目當時住所不定の田淵繁次郎(十九)と云へる者なるが先月の十三日京都市下京區土木受負業長谷川辨次郎方に小僧として奉公中主人の命にて郵便貯金百二十五圓を引出しての歸り道遂に惡心を生じ开が金を着服し其儘出奔し門司を經て釜山に着し京城に來り中の新地に酒色に日を過す内拐帶し來れる金子も殘り少くなりしかば仁川に下り濱町の尾崎旅館に二三日宿泊し其後行衛を晦ませしが懷中文無しとなり今は旅館に投宿するさへ叶はざるより或る韓人家屋の軒に冷たき眠を結ばんとせしも夜露しげくして眠られざるにぞ今宵一夜貸家の板の間に夜を明さんとしたるものなりと前非を懺悔せしかば拘留處分に附し引續き犯跡搜査中なりと

●現金一圓七十錢 七月四日午後四時頃御成町街路に於て現金一圓七十錢入りの財布を拾得し筆洞分遣所に屆出者ありたるに付南部署に移送せし由なれば心當りの者は南署に申出ず可し

●腸窒扶斯患者發生 岡山縣射水郡新港町三百三十一番戸當時南大門通り四丁目居住金木良之助(三九)は一昨四日午後九時より腸窒扶斯に罹り大韓醫院に入院せり

●壽座 六日の替り番組は左の如し 壽限無(金守)ゆびの寫し繪獅子の曲(金遊齋)常盤津並に浮世ぶし(小つま)地口並に音曲(市馬)樂鐘(金勝)音曲手をどり(金登喜)つる〳〵(花圓遊)曲藝いろ〳〵(龜治郎)尺八曲種々(花堂)子別れ(金馬)大切新作喜劇書工

●歌舞伎座 桃中軒如雲一座六日(三日目)讀物中同人の分左の如し 赤垣源藏徳利の別 不破數右衛門芝居見物

今日の運勢

七月六日舊五月廿九日、四綠、先負、壬申、滿△一白●新事改易の事不利葛藤爭論の端を醸す勿れ金鳥の業及礦業に吉△二黑●妄言に陷り易し賣買取引貸借尤も注意すべし△三碧●新事改易の事吉△四綠●埒明かぬ事多き日事業の事不利近親の事係累有り婚談團結始め開店談議見合せの事遺失防ぐべし△五黄●業務上故障多き日なり尚酒色の害を戒しむ△六白●新事改易の事見合すべし盜難遺失防ぐべし△七赤●破綻し易き日契約取引賣買團体の事に忌む△八白●衝突爭論盜難の恐れあり尚癈病衛生に注意すべし△九紫●利得ある日事業始め開店賣買進んで吉但し家畜從者の事注意(本町五丁目三一舘判)

●天氣豫報(自五日午後六時至六日午後六時)

南東風曇但少雨

四日(華氏) 最高温度 八一、三 最低温度 六一、三

●商業會議所役員會 五日商業會議所に於ては改選後第一回の役員會議を開催したり議案は會議所の區域變更に關する件併他定款改正準備等なりしと

●水野内務省參事官 水野内務省參事官は大邱、馬山、釜山の視察を了へ五日歸朝の途に就けりと

公人私人

▲南部助之丞(東鐵旅務課長)四日釜山より入京天眞樓へ投宿

▲弓削幸太郎(鹿兒島縣事務官)四日仁川より入京山本旅館へ投宿

▲尾崎俊雨(東拓地方金融組合理事)四日入京九州旅館へ投宿

▲森田福太郎(釜山商業會議所書記長)四日入京浦尾旅館へ投宿

▲税所通(憲兵中尉)晉州へ歸任

▲伊集院乘吉(同)光州へ同

▲加藤勝之進(同)春川へ同

▲早田元豐(大阪新聞記者)釜山へ

▲高橋茂久平(金光教韓國布教管理者)

▲佐藤範雄(同一等巡教師)同

京城居留民團告示第二十四號
元龍山居留民團ハ本日ヲ以テ當民團ニ合併セラレタリ
明治四十三年七月五日
京城居留民團民長 古城菅堂